

図や写真など（公立中高一貫型） 3_オリジナル5

問い 次の二つのグラフは、自立した生活を営むうえで必要となる資質・能力（「生きる力」）の要素として、具体的な生活に関する行為や技術（生活スキル）についてのアンケート結果を示したものです。二つのグラフからわかることを一つあげ、それについて考えたことを原稿用紙の使い方にしたがって二百字以内で答えなさい。

<模範解答>

二つのグラフからは、「ありがとう」「ごめんなさい」というお礼や謝罪の言葉を言うことについて、身につけておくべきだと答えた保護者の割合が最も高く、「できる」と答えた小学生の割合も高いことがわかる。

わたしも、人から物をもらったときに、母から「お礼は言ったの」とよく注意されたのを覚えている。「ありがとう」が言えなければ、相手に不快な思いをさせてしまう。礼儀正しさはとても大切だと思う。
(40点満点)

<採点のポイント>

A…グラフ1・2からわかること（○20点、△10点、×0点）

- ※2つのグラフからわかることを1つ示していれば○
- ※それぞれのグラフから別々の内容を引用したものは△
- ※一つのグラフのみに注目したものは△
- ※何の数字か説明のないものは×

○休みの日に着る服を選べる小学生は8割いるが、それが必要だと答えた保護者は5割しかいない。
(2つのグラフで同じ項目についての割合の差を述べたもの)

○必要だと答えた保護者の割合が、できると答えた小学生の割合より多いものが3つある。
△初めて会った人に自分から話しかけることが生きるうえで必要だと答えた保護者は少ない。
×グラフ1では65%だが、グラフ2では85%ある。

B…考えたこと（○20点、×0点）

- ※Aで示したことに対する考え（感想、反省、決意、理由の推測など）を示していれば○
- ※Aで示したこととの関係があいまいなものは×
- ※単なる事実の紹介は×

○できると答えた小学生は多いが、わたしはできていないから、これからがんばりたい。
×がんばらなければいけないと思った。
×わたしはできてない。

<採点基準> 原稿用紙の使い方の減点はいつも通り

- | | |
|----------------------|---------------|
| ①文意（A・Bの文意）を満たしているもの | ……………○ |
| ②文意（A・Bの文意）の欠 | ……………× |
| ③あいまい（上記以外） | ……………ABの減点を加算 |
| ④誤字・脱字 | ……………都度△－1 |
| *③④加算する | |

<採点例>

○目上や年上の人に丁寧な言葉を使うことを必要だと考える保護者の割合にくらべ、できると答えた小学生の割合は低い。わたしも言葉づかいについては反省するところがある。言葉づかいで損をすることがないように、気をつけたい。

△近所の人にあいさつが必要だという保護者が75.8%いる。あいさつは大切だと思った。
(③より30点) Aが△